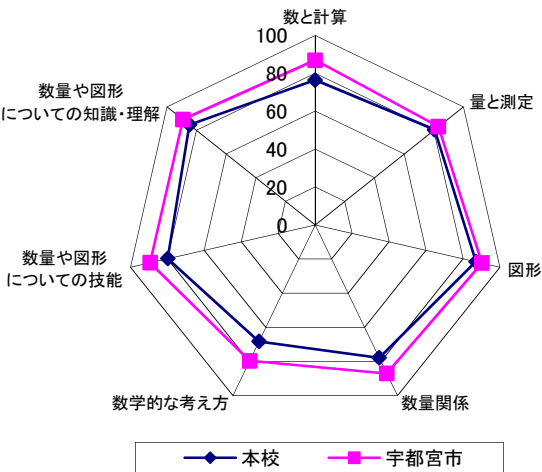


宇都宮市立平石北小学校第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	76.4	86.9
	量と測定	80.6	83.2
	図形	87.0	90.2
	数量関係	77.8	87.0
観点別	数学的な考え方	68.3	79.6
	数量や図形についての技能	79.8	89.3
	数量や図形についての知識・理解	84.8	89.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (76.4%)	・平均正答率は、76.4%と市の平均より低い。 小数のかけ算・わり算の問題での正答率は市の平均とほぼ同じであるが、最小公倍数を求める問題、約分の問題、分数の加法・減法の問題で正答率が低くなっている。	・公倍数、公約数を書き出し、そこから最小公倍数や最大公約数を正しく求める問題を復習させていく。また、分数の足し算・引き算で、分母の公倍数を考えて通分して計算したり、求めた答えを約分して分母の一番小さい分数で答えを求める計算練習に繰り返し取り組ませていく。
量と測定 (80.6%)	・平均正答率は、80.6%と市の平均とほぼ同じである。単位量当たりの大きさを求める問題や平均を求める問題では正答率が高くなっているが、体積を求める問題で正答率が低くなっている。	・体積を求める公式にあてはめて計算することができるように、直方体や立方体の体積を求める問題に繰り返し取り組ませていく。また、複合図形のような複雑な図形については、2つ以上の直方体や立方体の形に分けたり、大きな直方体や立方体からいらぬ部分を引いたりする図形的な感覚を身に付けられるように様々な問題に取り組ませていく。
図形 (87.0%)	・平均正答率は、87.0%と市の平均とほぼ同じである。合同な図形の性質の問題では正答率が高いが、三角形や四角形の角度を求める問題で正答率が低い。	・三角形や四角形の内角の和を正しく理解させ、四角形や三角形の性質などに注意しながら、角度を正確に求められるように、繰り返し問題に取り組ませていく。
数量関係 (77.8%)	・平均正答率は、77.8%と市の平均より低い。 比例の問題の正答率は高くなっているが、計算の決まりの問題で正答率が低くなっている。	・交換法則、結合法則、分配法則のそれぞれの計算の決まりを正しく理解させ、それらの決まりを使って式を変え、工夫して計算するような問題に取り組ませていく。